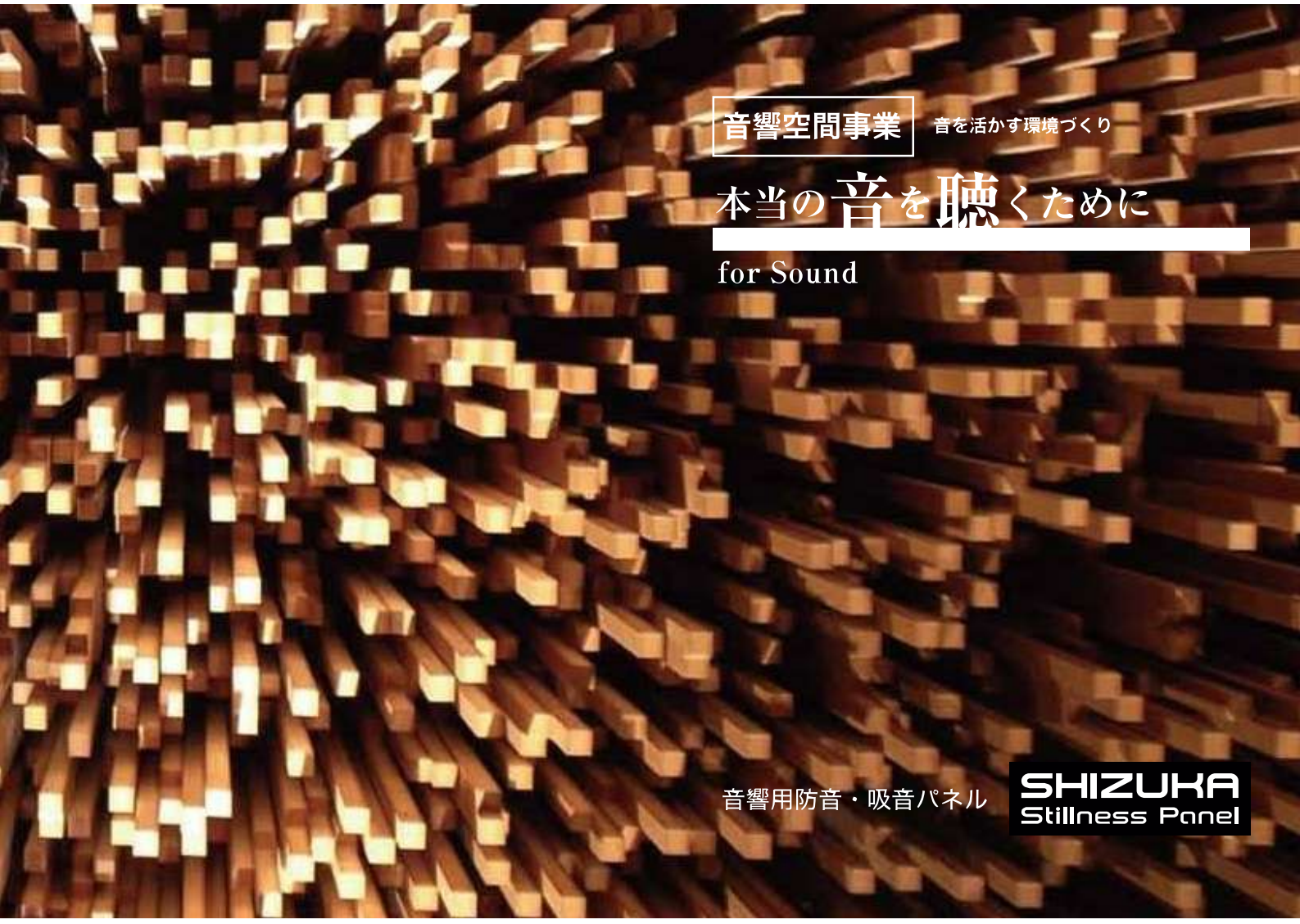
静かさを科学する

SHIZUKA

音響空間用カタログ【事例集】



音響空間事業　音を活かす環境づくり

本当の音を聴くために

for Sound

音響用防音・吸音パネル　SHIZUKA Stillness Panel

国内特許：22件
国内商標：7件

海外特許：米国・中国・韓国・英国・独己・仏国
海外商標：米国・中国・韓国・EU

第40回 発明大賞 本賞受賞

平成29年度　文部科学大臣表彰
科学技術賞（技術部門）受賞

第7回 ものづくり日本大賞
製品・技術開発部門 優秀賞受賞

平成29年度　文部科学大臣表彰
神奈川県がんばる企業2018エース 認定

株式会社 静科

SHIZUKA Stillness Panel

SHIZUKA Stillness Panel は、レコーディング･エンジニアやミュージシャンらの意見を集約。
理想的な制作環境や音響空間デザイン、ホームシアターを実現できます。



音を彩る音響パネル

音を楽しむ環境をつくる

音響用防音・吸音パネル

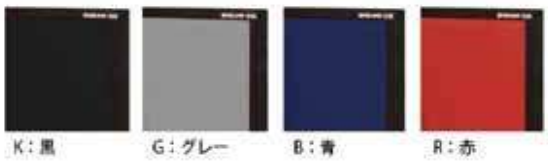
SHIZUKA Stillness Panel

SHIZUKA Stillness Panel SDM

特長・性能

- 吸音効果の高い発泡樹脂を採用
- 特許構造・ハニカム構造体による高い強度を実現
- 4種類の比重の異なる素材を採用
  内部に遮音材をプラスし、低音域の遮音効果を向上

音を彩る音響パネル　SHIZUKA Stillness Panel







音を正確に聴くための音響パネル

独自の吸音構造により空間の不要な反射音や定在波、ノイズを抑え込み「静寂な空間」＝「正確なモニター環境」をつくりだすことができます。著名なプロミュージシャンやレコーディング・エンジニア、音響空間デザイナーのチームにより開発を行い音のプロフェッショナルから音楽・オーディオファンのための空間づくりに最適な音響パネルです。

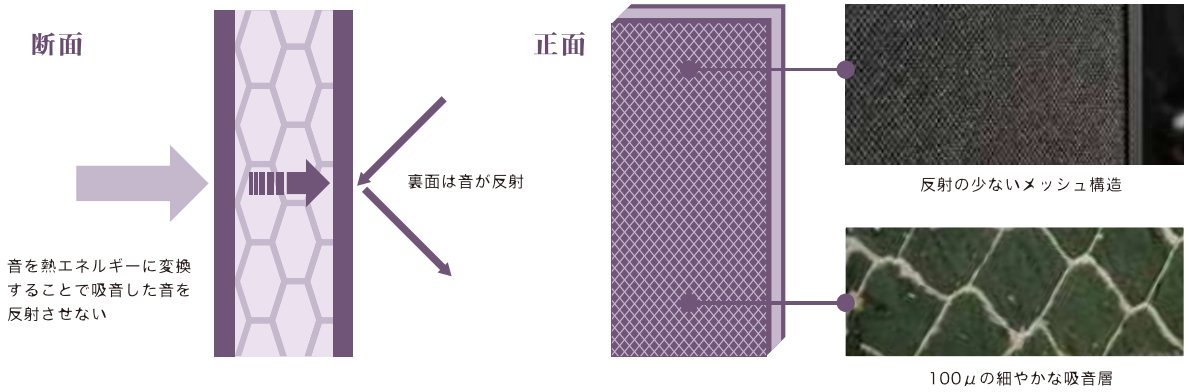
薄くて軽い

グラスウール 100㎜＝パネル厚35㎜

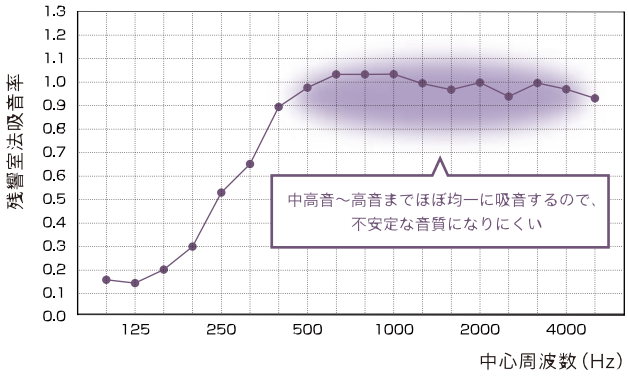
コンクリート壁や大きなガラス窓がある部屋を音楽スタジオにする場合、二重壁内部に防音・吸音効果を持たせるグラスウール等を入れる工事が必要となりその機能を満たすには約100mmもの厚さが必要と言われます。これを静科のパネルに置き換えると35mmで、グラスウール100mmと同等の吸音効果を得ることが可能です。

用途

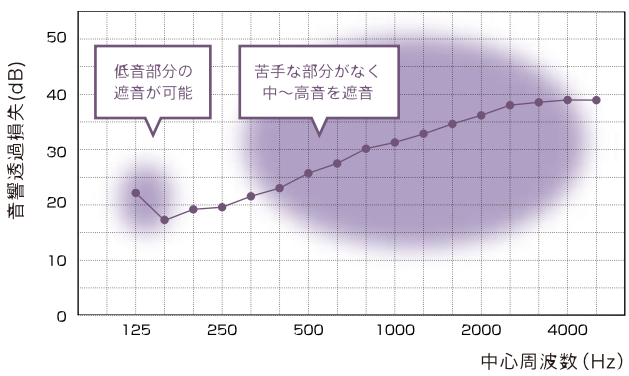
比重の異なる三層構造による広範囲の吸音（100～10kHz）



残響室法吸音率データ



音響透過損失データ





プロユース

静寂な空間を作り出し、正確に音を聴ける

プロ向け環境では、全面を覆うと簡易無響室なみの性能を発揮します。スタジオなど室内の不要な反響を全周波数帯域にわたって吸音できます（吸音性能100～10ｋHz)。大音量の吸音/遮音にも、また吸音させたい位置に必要面積を設置することでピンポイントで吸音させることができます。



自宅オーディオルーム

機材や環境に合わせてカンタン設置

リフォームや改築などを行うことなく、反響音の少ないオーディオ環境を自分で演出できます。省スペースでスピーカーの音をより正確に再現できます。



デスク周り

省スペースでもノイズ吸音し、反射音を楽しめる

反響しがちなデスク周りの反響を軽減します。小型でもしっかり吸音・遮音を行うことができ、よりクリアな音をデスク周りでも楽しめます。

■施工事例　代官山　『晴れたら空に豆まいて』



『晴れたら空に豆まいて』は代官山駅から歩いて 1 分の地下 2 階にあるライブハウス。「縁」と「場」の演出を心がけるイベントスペースです。ライブだけでなく DJ イベントから落語、映画の上映、演劇、トークショー、落語や映画、ウェディングパーティーなど、人々が「縁」を結びながら愉しんで楽しんで頂けるためのさまざまな「場」の演出をしていきます。

そして何より、音にうるさいミュージシャンにも評判なのは以下の理由です。その 1、音がいい。DSD 視聴イベントでは途中から中に入るとライブ演奏をやっているのかと勘違いするような音です。スマホやサブスクでしか音楽を聴かなくなってしまった方には驚きの体験です。80 年代から不動の人気の PA 用スピーカー「メイヤーサウンド」の UPA-1A と USW-1、アナログコンソールの MIDAS を使っています。しかもケーブルは「アコースティックリバイブ」です。
実はステージ脇にスタックされたアンプの空冷ファンの音はかなりうるさいのですが、これを一発で遮音してしまったのが SHIZUKA Stillness Panel SDM。そしてまもなく完成する入口の防音ドアは、新製品（受注生産）です。音を出す道具だけでなく、吸音／遮音がないといい音の空間は作れません。

その 2、もう一つの自慢できる魅力はスタッフの質と機動力です。出演アーティストへのリスペクトとホスピタリティが一番なのは言うまでもありません。すべてのスタッフのチームワークとモチベーションに支えられ、すべてが「体験のために」最高のクオリティ提供します。
「晴れたら空に豆まいて」はどんな天気の日でも、あなたのために晴れています。

『晴れたら空に豆まいて』
150-0034 東京都渋谷区代官山町 20-20
モンシェリー代官山 B2
tel. 03 5456 8880

チーフエンジニア
Moky Tanizawa / タニザワモーキ

■施工事例　（ライブハウス）　新宿ピットイン



左記の写真は 2022 年 2 月 23 日に渡辺貞夫さんや Art Blakey's Jazz Messengers など国内外の様々な有名グループを歴任してきた日本を代表するベーシスト鈴木良雄さんのリーダーバンド「The Blend」のライヴレコーディングの模様です。レコーディングエンジニアは弊社の菊地、当日の PA オペレーターは私です。 本年 4 月に、鈴木良雄 The Blend「Five Dance」（二枚組）として、CD にて既にリリースされています。

さて、SHIZUKA Stillness Panel SDM ですが、写真の通り、ピアノ周りとドラム周りに使用しております。ピアノはこの位置にこのパネルを設置することによって、ピアノの下方からの反響と壁からの様々な反響を整えてくれています。

ドラムとベースの間に設置したパネル、厳しい条件下にあるベースのライヴレコーディングにおけるマイク収音を大いに助けてくれました。このパネルで、特にベースリーダーのバンドにおけるベースの収音において大いに助けられました。日常的な使用例としてはギターアンプやベースアンプの後ろに置くことが多いです。以前からバーのあたり、低音が溜まるのを改善したかったのです。 2023 年 9 月、バーカウンターの下に SHIZUKA Stillness Panel をブロック状のを壁のように組み合わせてみたらかなり低音が落ち着きました！

鈴木良雄
ザ・ブレンド / ファイヴ・ダンス

新宿ピットイン
チーフ・エンジニア　渡辺

■ 納入事例



これまでの豊富な経験を軸にして、技術とサービスとコミュニケーションを提供する集団。音楽から映像まで幅広いニーズにお応えする総合スタジオが、SHIZAUKA SDMパネルで新たなスタイルを提案する。

ONKIO HAUS

音響ハウス

◎ 東京都中央区

2020年公開　日本初！レコーディングスタジオドキュメンタリー映画
『音響ハウス Melody-Go-Round』（相原裕美 監督）
公式サイト: https://onkiohaus-movie.jp/

“ Spatial Audio 始動！ Dolby Atmos | 360 Reality Audio”





(C) 八島崇（カメラマン）

DATA
株式会社 音響ハウス
104-0061
東京都中央区銀座 1 丁目 23 番 8 号
代 表：高根護康
設 立：1973 年 8 月

https://www.onkio.co.jp/





■納入事例



“こだわりをかたちにする”
毛利家の遺訓と気概を継承し、最高の制作環境をミュージシャンに提供するスタジオ

MOURI ART WORKS STUDIO Inc.

モウリスタジオ

◎ 東京都目黒区

ホームスタジオである目黒のモウリ・アートワークススタジオは、コントロールルームと録音ブースの間が全面ガラス張りになっているため、その反射に随分と悩まされてきました。そんなところに現れたこのSHIZUKA Stillness Panel SDM。最初に感じたのは恐ろしく位相が良くなったこと。以前の音像を鉛筆の濃さで例えるとHBくらいだったとすると、2Bくらいのくっきりとした輪郭になったかのようでした。低音の吸収性の良さも特筆すべきですが、加えて中高音のピークを柔らかくもしてくれます。すっきりとした音像を得る事ができ、仕事の効率がすごくよくなりました。歌の録音にも絶大な効果を発揮します。大きく張りのある声の方などの場合、声の初期反射がマイクにかぶってくるために部屋の広さが分ってしまうことがあります。
SHIZUKA Stillness Panel SDM をマイクの周りに設置することによりほぼ解決します。アイディアや考え方で様々なことができると思います。

飯尾芳史（Yoshifumi Iio）



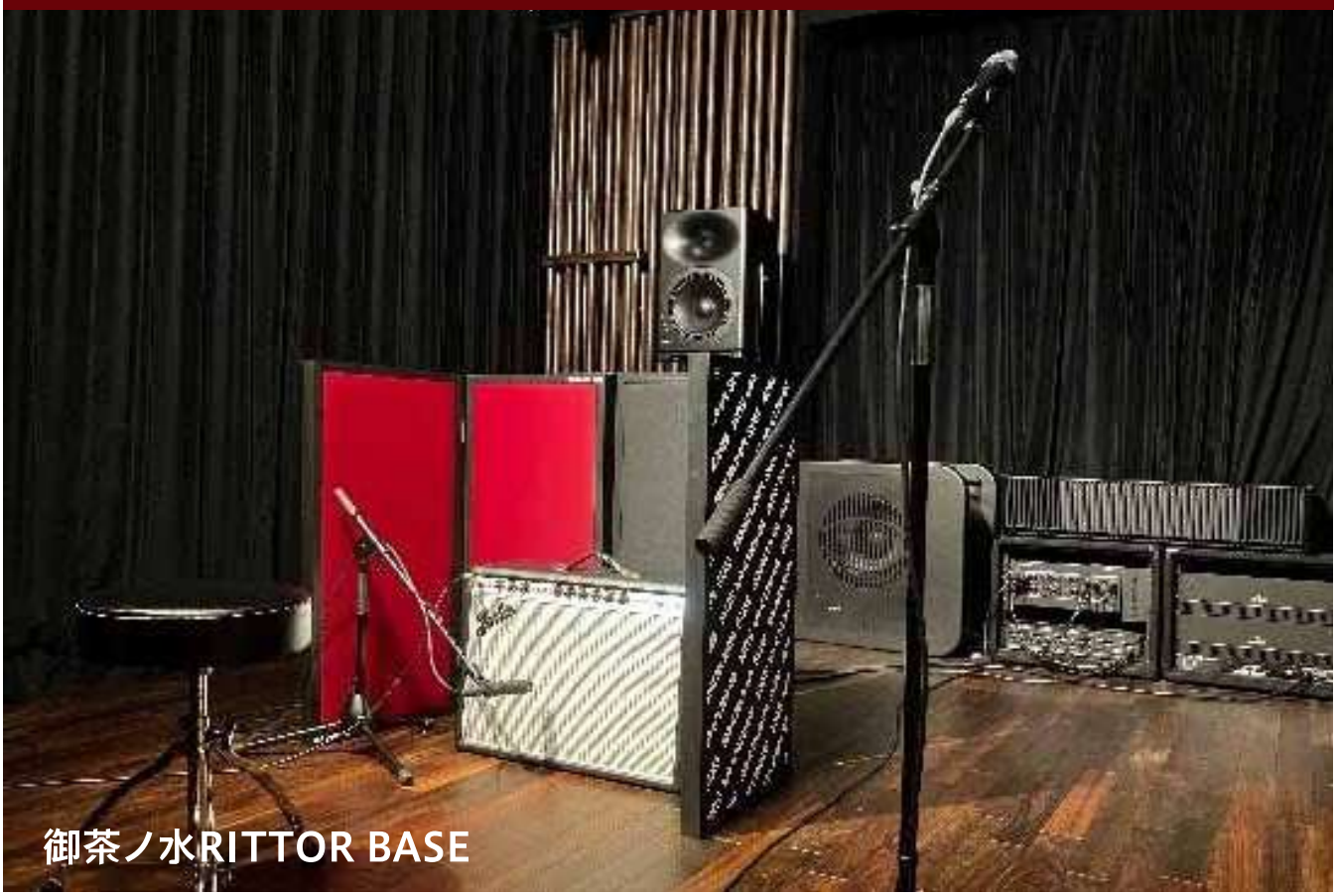


アーティスト / 録音エンジニア
飯尾芳史（Yoshifumi Iio）

（プロフィールと作品）
1979 年アルファレコード入社。細野晴臣『フィルハーモニー』を皮切りに YEN レーベルのほとんどの作品を手がけ、1983 年にフリーランスとして渡英。トニー・ヴィスコンティのスタジオでエンジニアリングとプロデュースのノウハウを学ぶ。その後オフィス・インテンツィオを経て 1986 年に藤井丈司らと株式会社トップを、1999 年に株式会社アップアップを設立。2010 年より再びオフィス・インテンツィオ所属となり多くのミキシングやプロデュース、アレンジも担当している。最近では渡辺美里「ハートに火をつけて〜シーズン2〜with 怒髪天」/ 矢野顕子「やのとあがつま Asteroid and Butterfly」「愛を告げる小鳥」/ 小坂忠「まだ夢の途中」/ スターダストレビュー「年中模索」/ 映画「音響ハウス Melody-Go-Round」など

DATA
モウリアートワークススタジオ株式会社
153-0063
東京都目黒区目黒 3-3-18
代 表：毛利永子
設 立：平成 4 年 4 月

■納入事例



御茶ノ水RITTOR BASE

ライブ配信を数多く行っている RITTOR BASE は、レコーディングスタジオのように仕切られたブースがないので、すべてのプレイヤーが同じ空間で演奏することになります。当然被りがかなり生じるわけで、ギターアンプやドラムのような大きな音の処理には苦労していました。
それが SHIZUKA Stillness Panel SDM を導入し、ギターアンプを囲ったりキックの前に置くことにより、あっさりと解決しました。特筆したいのは吸音素材にありがちな窮屈さがないことです。楽器の鳴りはきちんと残しつつも、他の楽器に迷惑をかけない。なので、それぞれのプレイヤーに気持ち良く演奏していただくことができています。



RITTOR BASE について
御茶ノ水 RITTOR BASE はリットーミュージックが楽器の街・御茶ノ水に開設した多目的スペースです。
楽器の音が理想的に響く環境を整え、機材も最高のものを用意しました。

お問い合わせ　rb@rittor-music.co.jp

御茶ノ水 RITTOR BASE
101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1　OCC ビル B1
https://rittorbase.jp/

■納入事例



2012 年のある TV 番組でした。工場まで訪ねて行き、ユニークな特許構造、測定データを見せてもらい、これは凄い！ぜひとも音楽制作、エンタメのマーケットに紹介するために「SHIZUKA Stillness Panel」と持ち運べる「SHIZUKA Stillness Panel SDM」の商品企画、ブランディングを手伝っています。
弊社のスタジオでは、わずか 33 ミリ厚のパネルで反射音を消し、SDMO Studio ＝イマーシブの正確なモニターには必須アイテムです。
半無響室の空間、その上で響きを加えたり、ルーム IR を組みます。



SDMO Studio

マスタリング

Seigen Ono

空間音響デザイン事例



アーティスト / 録音エンジニア
オノ セイゲン（Seigen Ono）

録音エンジニア / ミュージシャン
『ニュー・シネマ・パラダイス』と『ヴィム・ヴェンダース Blu-ray BOX』など映画の Blu-ray 化の音声マスタリングが話題に。
1978 ～ 80 音響ハウス在籍。坂本龍一「戦場のメリークリスマス」、渡辺貞夫「エリス」、ビル・フリゼール、ジョン・ゾーン、マイルス・デイヴィス、キング・クリムゾン、デヴィッド・シルヴィアンなど多数のアーティストのプロジェクトに参加。1987 年、コム デ ギャルソン 川久保玲から「誰も、まだ聴いたことがない音楽を使いたい」「洋服がきれいに見えるような音楽を」という依頼によりショーのためにオリジナル楽曲を作曲、制作。
アルバム『COMME des GARÇONS SEIGEN ONO』を発表。
スイス、モントルー・ジャズフェスには 4 回出演。
2019 年度 ADC グランプリ受賞者。

■ 納入事例



SHIZUKA Stillness Panel と SHIZUKA Stillness Panel SDM は、録音・PA の現場ですごく役立っている。特に SHIZUKA Stillness Panel SDM は簡単に設置できて絶大な効果を発揮します。例えばバンドで録る際に、ギターアンプなどは全方向に音が出るので、周りを囲んで簡易ブースにしたり、フェンダーローズスーツケースの音が他のマイクに被らないように遮蔽するのにも使えるし、ドラム録音では Kick の前に置くとタイトに録れるしね。求める音によってはドラマーの後ろや両脇に置いたり、歌録でも SDM で囲んで使ってます。スタジオでは余分な反射も抑えられるので、録音中の邪魔なレゾナンスをコントロールするのにも使え、例えばコントラバスやブラスの低域が部屋のどこかで溜まっているなど、そのポイントを見つけて立てたてるだけですっきりする。もちろんモニタースピーカーの調整でも大きな効果があり、ガラス面の前には立てかけるだけで余分な反射が消え、明らかに明瞭度も上がってやり易くなります。自身のスタジオ ST-ROBO はトラッキングルームの天井を全て SHIZUKA Stillnes Panel にしてあり、高い防音性を保ちながらも響きは自然に残っている。PA の現場では会場の大きさや箱の鳴りに合わせて、音楽でその場を満たしていくが、ダイレクト音を大きく気持ちよく聞かせるには、反射や被りは大事であり、レコーディングのマイクには避けたい要素。その場で簡単にコントロールできるのはとてもありがたく、ライブレコーディングを同時にやることも多いので助かっています。それに SHIZUKA Stillness Panel SDM は大きさや重さも乗用車に載せられるのも大きなポイント。近く都内にあるスタジオ、ST-ROBO を 9.1.4 の Dolby Atmos、イマーシブオーディオ環境にするべく構築中。
そこでも SHIZUKA Stillnes Panel は強い味方になっている。



ZAK Profile :
SOUND ENGINEER, DESIGNER、PRODUCER、Re-MIXER 音楽、映画音楽制作、ミキシング、演劇など「音」まつわる事に、多岐にわたり多くの作品に関わる。

青葉市子、忌野清志郎、菅野ようこ、坂本龍一、相対性理論、水曜日のカンパネラ、原田郁子、三宅純、ALVA NOTO、BRIAN ENO、BOREDOMS、BUFFALO DAUGHTER、FISHMANS、GEZAN, SUGIZO、OPN、SQUARE PUSHER、Terry Riley, UA、YELLOW MONKEY などの録音や PA。映画音楽監督としてはおもに豊田利晃、ワン・イェミン、犬堂一心などの作品。大友良英音楽『幽閉者』REC& MIX 村上たかしの作品では音楽プロデュースで参加。舞台は野外演劇を得意とする『維新派』を 20 年以上にわたって音響をてがけてきた。飴屋法水と『4.48 サイコシス』以来『おもいのまま』『じ め ん』『いりくちでくち』など、マームとジプシーは『COCOON』『まえのひ』など「音」として活動を共にしている。NODA MAP では『足跡姫』『桜の森の満開の下偽作』他、音響デザイナーとして参加。白井晃演出の『No.9 不滅の戦慄』、宝塚歌劇団宙組 上田久美子作演出『FLYING SAPA』他の音響アドバイザーなど。近年の作品としては…Buffalo Daughter『WE ARE THE TIMES』REC & MIX 坂本龍一のアルバムや舞台など、その他進行中のプロジェクトの REC & MIX 犬童一心監督、田中泯主演のドキュメンタリー映画『名付けようのない踊り』MIX 毛利悠子の音響インスタレーション『SP. By Yuko mori』REC &MIX 木村カエラ『Color Me』REC & MIX 映画『フィッシュマンズ』音楽 MIX , MASTERING NODA MAP『桜の森の満開の下偽作』劇中音楽 MIX Jeff Mills 率いるバンド『Spiral Deluxe』REC & MIX 過去作品のリマスターなど

■納入事例



天王洲のボードウオークから川を望む絶好のロケーション
リスナーに声を届けるラジオ放送局にも静科のテクノロジーが生きている

OTTAVA

OTTAVA（オッターバ）

◎ 東京都品川区









DATA
OTTAVA 株式会社
140-0002
東京都品川区東品川 2-6-10 G 棟
代 表：斎藤 茂
設 立：2014 年 6 月

https://ottava.jp/

■アーティスト



とっても良いです。音が、ぐっとしまってより分離がよくなりました！
1959 年生まれ。映画やテレビの音楽を山のように作りつつ、ノイズや即興の現場がホームの音楽家。ギタリスト、ターンテーブル奏者。活動は日本のみならず欧米、アジアと多方面にわたる。美術と音楽の中間領域のような展示作品や一般参加のプロジェクトやプロデュースワークも多数。震災後は故郷の福島でも活動。その活動で 2012 年には芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013 年、「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞を受賞。2017 年、札幌国際芸術祭の芸術監督を務める。2019 年、NHK 大河ドラマ「いだてん」の音楽を担当。90 年代よりアジア各地のミュージシャンのネットワークに現在も奔走。また福島市を代表する夏祭り「わらじまつり」改革のディレクターも務めた。

大友良英　様
http://otomoyoshihide.com



オーケストラのソロイストとしてエレクトリックギターを弾く時は、指揮台の下手に置かれたギターアンプの後ろにストリングスの方々が位置する状態になる。僕のアンプはオープンバック（後面開放型）といって、アンプの後ろからもスピーカーの音が鳴るから、このままでは大迷惑。そんな時に SHIZUKA Stillness Panel SDM が大活躍。これを設置するだけでオケの方々は安心するようだ。
この優れモノを紹介してくれたセイゲンとは、80 年代の日本コロムビアから、ポリドールの domo レーベルまで、密度の濃いレコーディングを一緒にやった戦友。このパネルを録音で使う時のヒントを、いずれ伝授してもらいたい。ギタリスト・コンポーザー・プロデューサー名実ともに日本が世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリスト。17 歳で衝撃のアルバムデビュー。驚異の天才ギタリスト出現と騒がれて以来、ジャズフィールドに留まらない「ギターの可能性」を探求し続け今に至る。独自の＜カズミサウンド＞を創り出すことでも定評がある。2021 年レコードデビュー 50 周年を迎え精力的に活動中。洗足学園音楽大学ジャズコース客員教授。

https://www.kazumiwatanabe.net



1992 年北海道生まれ。幼少からクラシックに親しみ、13 歳よりクラシックパーカッションを始める。これまでにクラシックパーカッションを大垣内英伸、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。2002 ～ 2006 年まで札幌ジュニアジャズスクールに在籍し本格的にドラムを演奏し始め、その間、ハービー・ハンコック、日野皓正、タイガー大越に出会い多大な影響を受ける。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学を卒業。ドラムはじめ、打楽器、ピアノ、マルチインストルメンツ奏者。日野皓正クインテットほか。くるりのサポートメンバーとしても活躍している。

石若駿　様
http://www.shun-ishiwaka.com/home

■エンジニア



学生時代はバンドやってましたので、多少ギターが弾けます。アコースティック楽器を録るのが得意です。録音は、極力マイキングで。機材選びからですけど。アナログなんです。やはりこのスタジオ空間ですから、生音を忠実に録音できるかですね。現場が第一。若い人を育てたい。それなりのレベルまで引き上げていくのが大事だと思うんです。音楽のジャンル関係なく録らせて頂きますので、お気軽にお声をかけてください。

※音響ハウスでも
「SHIZUKA Stillness Panel」を購入できます。

高村政貴　様

新潟県南魚沼市出身、音響技術専門学校卒業

音響ハウス・チーフエンジニア
https://www.onkio.co.jp/staff/index.html



10 代の頃は音楽の勉強に明け暮れ、音楽大学卒というエンジニアとしては珍しい学歴。譜面が読める事はもとより、演奏家 / アレンジャーからの視点でも思考できる独特なワークスタイルを持つ。作家やバンドメンバー、ミュージシャンとのコミュニケーションを大切に考え、録音方法やアレンジなどのアイデアを出し合い、一緒に作り上げる姿勢を目指している。楽器やボーカルのピッチ、リズムのチェックやディレクションなど、スタジオワークにおいては多くのミュージシャン、アーティストの信頼を得ている。ループやフレーズサンプリング、アナログシンセサイザー等を多用したジャンルの録音はもちろん、バンドからストリングス、ブラスを含む大編成でのレコーディングの経験も豊富。たっぷり時間をかけたい場合でも、短時間できっちり仕上げたい場合でも、柔軟に対応可能。また、ビンテージを含むマイクロフォン、エフェクターのアナログ録音機材にも詳しく、大胆な選択で、より本格的、個性的なサウンドを生み出す事を心情にしている。アーティストのアルバムから、映画や TV ドラマ・TVCM・企業 PV・舞台音楽・博覧会等、映像を絡めた仕事、また映画の 5.1 サラウンドはもちろんイベントや博覧会専用の多チャンネルシステム等の経験も豊富である。音楽雑誌（サウンド＆レコーディングマガジン）等で、録音機器の使い方等のレクチャーや新しい機材のレビュー等も 20 数年執筆継続中。某楽器店主催の録音コンテストの審査及びメインスタッフも 20 数年継続中。



鎌田岳彦　様

北海道出身



7年間ニューヨークで活動し、2020年から東京に拠点を移しました。僕のプライベート・スタジオ「サイデラ・エコトーンラボ」は、小規模なスタジオなので、音の反射の悪影響を受けやすいのです。低予算で効果が得られる吸音材料を探していました。頭の後ろに SHIZUKA Stillness Panel SDM を配置するのは半信半疑で試してみましたら後ろの壁から反射する音の悪影響が劇的に減りました。オノ セイゲンさんの説明通りでした。後ろの壁が実際よりも遠くにあるような感覚がします。

Toshi Tsuruoka 様

マスタリング・エンジニア / 作曲家

■ エンジニア



ニラジ・カジャンチ 様 (Neeraj Khajanchi)
[NK SOUND TOKYO] OWNER.
ENGINEER. MIXER





これがマジですごくて。声優さんの REC してる時は気づかなかったけど、
めちゃくちゃミックスしやすくなった… 最高だわ。

#ShizukaPanel #VoxRec



スタジオ録音からライブ PA、サウンドインスタレーションなど、場所を問わず音へのアプローチを続ける音響技師。主に蓮沼執太、青葉市子、スカート、岡田拓郎、寺尾紗穂、大友良英などを手がける他、舞台作品への参加やサウンドプロデュースも行うなど、活動の幅を広げている。2022 年には自身のレーベル、S.L.L.S Records（シルス・レコーズ）を始動させ、一作目の作品として岡田拓郎、葛西敏彦、香田悠真の 3 名と、ボーカリストとして細井美裕が参加した、“水の変容”をテーマとした器楽集 ” To Waters of Lethe” をリリースした。カバー・アートワークは大原大次郎がデザインを担当。 受賞に第 23 回文化庁メディア芸術祭アート部門新人賞（細井美裕 /Lenna）、カンヌライオンズ 2021（Yakushima Treasure/Yakushima Treasure Another Live from Yakushima）など。

葛西敏彦　様
サウンドエンジニア

当方はライブハウスというよりイベントスペース。コンクリート打ちっぱなしの場所となりましていくつか音場がぼやけるところがあったのですが、パネルを設置しましたらぼやけが取れクリアな感じとなり響きの効果だと感じました。また別のパネルは音響スピーカーの裏などに設置しますと低音の暴れなどが落ち着く感じになり各レンジが聞きやすくなりました。ふと思ったところに設置できる手軽さが良いです。配信ライブが増えているので SHIZUKA Stillness Panel は必要不可欠になると考えております。

今　様
銀座ソニーパーク
https://www.sonypark.com/

■BRIAN ENO AMBIENT KYOTO　■長野県立美術館





https://ambientkyoto.com

2022 年に開催され大きな話題となった「AMBIENT KYOTO」の
第二回が 2023 年 10 月 6 日～ 12 月 24 日の期間で再び開催されます。

■会　　場：【展覧会】京都中央信用金庫旧厚生センター・京都新聞ビル地下 1 階、
　　【ライヴ】東本願寺 能舞台・国立京都国際会館メインホールでがライブ会場。
■参加アーティスト：【展覧会】坂本龍一＋高谷史郎、コーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一
　　【ライヴ】テリー・ライリー、コーネリアス【朗読】朝吹真理子

音や音楽の展示には、部屋の不要な反射音を消すことにより、作品自体が際立ちます。SHIZUKA Stillness Panel はその強力な吸音 / 遮音性能により「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」の隠れた要所で使用されました。



ブライアン・イーノは、ミュージシャン、プロデューサー、ヴィジュアル・アーティストとして世界のシーンを牽引してきました。70 年代初頭にイギリスのバンド、ロキシー・ミュージックの創設メンバーの一人として世界的に注目を集め、その後、一連のソロ作品やデヴィッド・ボウイ（『ロウ』、『ヒーローズ』等）、U2（『ヨシュア・トゥリー』、『アクトン・ベイビー』等）様々なコラボレーション作品を世に送り出してきました。その活動の中で特筆すべきは、イーノが提唱した「アンビエント・ミュージック」です。環境の音それ自体が音楽となるように作られたアンビエント・ミュージックは、20 世紀の音楽文化におけるもっとも重要な革命のひとつと言われています。

「第Ⅱ期　みんなのアートプロジェクト成果展　配置訓練　細井美裕＋比嘉了」

マルチチャンネル音響によって空間そのものを意識させるサウンドインスタレーションや、舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作をおこなう細井美裕と、リアルタイム 3D グラフィックス、コンピュータービジョン等の高度なプログラミング技術による幅広い制作活動を行っている比嘉了による映像音響作品を公開しました。

2023 年 7 月 15 日～ 2023 年 9 月 10 日
■会場：長野県立美術館　交流スペース
1966 年「長野県信濃美術館」として開館し、90 年に東山魁夷館を併設。以来 50 数年を経て全面改築し、2021 年 4 月「長野県立美術館」と名称も新たに生まれ変わりました。新たな建築コンセプトは「ランドスケープ・ミュージアム」。国宝善光寺門前のまち並みや信州の自然と調和した景観をお楽しみいただけます。





https://nagano.art.museum/

■東京都現代美術館・シャルジャ　■東北ユースオーケストラ



オノ セイゲン＋坂本龍一＋高谷史郎
Seigen Ono + Ryuichi Sakamo+ ShiroTakatani



アートと音楽

SHARJAH ART FOUNDATION

Saidera Mastering & Recording 紹介記事

オノ、坂本、高谷のコラボレーションにより実現した聴覚の茶室。外側からのノイズと、内側での音の反響を最小限にまで抑える構造により､無意識的に空間を把握する感覚に働きかける。千利休の小さな仕切られた空間＝茶室で無限の宇宙を想像する。「人に限らず、視覚より先に聴覚により空間を把握していることは明らかである。ダイレクト音と反射音により音源の距離、方向、空間を認識している。視覚はそれを確認しているにすぎない。視覚障害者でもエコーロケーションのような訓練で、直接に脳の中の視覚野に情報が届けられる。
これは無意識のうちに誰もが日常生活で使用している感覚でもある。」　オノ セイゲン





http://tohoku-youth-orchestra.org/

『東北ユースオーケストラ』

（監督：坂本龍一）

3 年ぶりの公演を実施！

「SHIZUKA Stillness Panel SDM 」で大ホールの舞台袖でもあっという間に簡易録音室を組むことができます。
自立式、軽いのに強力な吸音パネル。写真は盛岡市民文化ホール、ステージ上手裏。

サントリーホール　2022.3.28
3 月 19 日（土）からはじまった。東京→盛岡→仙台→福島→東京も最終日

東北と世界をつなぐ音楽祭「Lucerne Festival ARK NOVA 松島 2013」をきっかけに企画・編成されたオーケストラです。楽団員は東日本大震災の被災三県（岩手県・宮城県・福島県）を中心に、ふだんは異なる組織で演奏をしている小学校・中学校・高等学校・大学の子どもたちが、プログラム（演奏）ごとに楽団編成を変えながら活動します。東北ユースオーケストラの活動は、単なる演奏目的にとどまりません。東北の子供たちが、優れた音楽家による指導や演奏をはじめ、普段は会うことのないさまざまな人々との交流を通じて世界を知り、沢山の仲間たちとともに経験していく「成長の場」と考えています。子どもたちの活力が、周囲の大人や地域全体、そして東北全体に活力を与え、あたらしい未来をつくりだすことを目指しています。”音楽でしか表現できないことが､沢山ある。言葉ではうまく伝えられないことも､音楽では伝えることができる。私たちは音楽を通して多くの感動を伝えていきたい”そんな思いを胸に､震災を乗り越えて生まれた強くて美しい音楽を､東北から全国、そして世界へ届けていきます。

SHIZUKA

https://www.hitori-shizuka.jp/

静科スティールネスパネル特設サイト
https://www.shizuka-ssp.jp

防音・騒音対策なら静科にご相談を!

株式会社 静科

神奈川県厚木市金田 492-1
Tel. 046-224-7200 / Fax. 046-224-7210

2023.11